

大工太郎兵エ入道沙弥祐勝 彦太郎 兵エ四郎

裏

梵字 会津西十二村内下荒田百姓同心造之

同

表

富田美作守藤原滋実 花押

願者

梵字 満字 奉修理八幡宮御社一字

日出山豊後守平頭實 花押

大工井上内匠助平宗儀

裏

天文廿四年（一五五五）乙卯九月廿九日

奥州会津西十二村之内下荒田

相殿九座 伊勢宮二座、一座は出尻村より移し、一座は和泉村より移せり。若宮八幡、出尻村より移せり。稻荷神、同上、婆神同上、熊野宮、和泉村より移せり。諏訪神、同上、明神、同上、稻荷神、本村より移せり。神職渡辺出羽、寛文中（一六六）一六七二）勝太夫久安神職と成てより、今の出羽久明まで五世なりと云。

一一、荒田村

1、館跡と上荒田村由来 蓼川、百騎沼の大湧水地帯を隔てて、その東部に、中荒井・下荒井より平田・荒田